

令和 7 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告(案)

概要

サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修（以下「サービス管理責任者等研修」という。）を円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【活動方針】

- ・「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿 Ver.5」に基づき、研修内容を検討する
- ・基礎研修、実践研修、更新研修で使用する教材のブラッシュアップを図るとともに、研修全体を見渡し、つながりを意識した研修プログラムを作成するため、いくつかの横断的な課題を抽出・検討し、各研修に持ち帰る
- ・各研修のポイントや役割について演習ファシリテーターの理解を促進するためファシリテーター説明会の内容を検討する
- ・質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施する

【委員構成】

		氏名	所属
1	副委員長	会田 真一	社会福祉法人ひらイルミナル
2	副委員長	岡田 哲也	社会福祉法人雲柱社
3		小出 由貴子	社会福祉法人友愛十字会
4		相良 宏司	社会福祉法人東京援護協会
5		清水 謙一	社会福祉法人まちだ育成会
6		丹澤 和美	社会福祉法人草むら
7	委員長	妹尾 和美	明星大学
8		徳嵩 順一	社会福祉法人正夢の会
9		徳武 孝	社会福祉法人足立邦栄会
10		樋口 勝	社会福祉法人本郷の森
11		皆川 直美	社会福祉法人からしだね
12	副委員長	宮田 理恵	特定非営利活動法人めぶき
13		横山 美紀	社会福祉法人イリアンソス
14		吉田 遊佑	社会福祉法人イリアンソス
15		渡辺 哲男	社会福祉法人調布市社会福祉事業団

【各研修の検討体制】 ◎印：チームリーダー

検討チーム	委員
基礎研修	◎岡田、相良、横山、吉田、徳嵩
実践研修	◎宮田、小出、樋口、渡辺、清水
更新研修	◎会田、丹澤、徳武、皆川
演習指導者養成研修	岡田、相良、横山、吉田

【活動状況】

	日程	検討事項
第1回	5月15日	委員長・副委員長選出 年間研修実施計画について 年間活動方針案及び計画案について つながりを意識した研修プログラムの作成について
第2回	8月19日	横断的な課題の検討 各研修チームでの検討
第3回	11月11日	令和7年度サービス管理責任者等指導者養成研修会受講報告 横断的な課題の検討 各研修プログラムの検討
第4回	3月13日	年間のまとめ及び次年度への引継ぎ事項

活動成果

【活動成果1 研修プログラムの検討と教材作成】

- ・研修の教室進行、FTを対象に、FT説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。更新研修については、SV演習のための説明会をオンデマンド配信で実施した。研修終了後は振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。
- ・受講者の理解促進に向けて、基礎・実践・更新研修すべてにおいて、演習の順番変更を行うと共に、教材作成に取り組み、ブラッシュアップを図った。

○基礎研修

- ・今年度は、検討会にて「横断的な課題」の検討を重ねてきた。研修検討チームの垣根を越えて「横断的な課題」について討議、研修チームに持ち帰ることで視座を得てきた。
- ・基礎研修の柱のひとつである支援プロセスについて、受講者がひとつひとつ理解を深められるように演習教材等の変更、デモ動画の再撮影を行った。

- ・アセスメントは、インテークのポイントやニーズ整理についての見直し、ニーズ整理表の変更を行い、受講者が実質的な理解を得られるように取り組みを行った。その結果、FT アンケートでは、ニーズの導き方が分かりやすくなったとの意見もみられた。
- ・基礎研修検討チームとして、演習指導者養成研修の内容検討にも取り組み、演習指導者の養成に尽力した。

○実践研修

- ・前年度を踏まえ、演習の順番変更を行い、アセスメントシートなどの内容の改訂を図り、ブラッシュアップを行った。
- ・基礎研修のニーズ整理部分や更新研修の SV 部分などを積極的に取り入れており、繋がりのある内容となった。
- ・FT 説明会にあたって、前年度からの変更点を一覧にしてまとめ、当日の説明を行った。

○更新研修

- ・前年度を踏まえ、演習の順番変更、SV 演習をはじめとした内容の改訂を行った。また新たに用語集を作成することができた。
- ・SV 演習は前年度より進め方を変更したことも踏まえ、通常の FT 説明会と別に、オンデマンド配信（未視聴者対応で Youtube 配信）を実施した。
- ・演習動画（関係機関との連携の実践報告）の再撮影に当たって、検討委員から講師候補の情報をいただき、新たな方による動画を作成することができた。

○専門コース別研修

- ・障害児支援をテーマにした研修を、児童発達支援管理責任者だけでなく、相談支援専門員も対象とした内容に更新するため、相談支援従事者研修検討委員との合同チームで検討を重ねた。児発管・相談共に 2 月に講義動画を配信する形で研修を実施した。

○演習指導者養成研修

- ・推薦者に区市町村障害福祉主管課を追加し、昨年と同規模の人数を確保する事ができた。
- ・今年度も 2 回に分けて研修を実施し、会場を当センターの研修室にて行った。
- ・検討チーム内の基礎研修検討委員の交代を踏まえ、新たな 2 名が引継ぎを兼ねて参加。基礎研修で行われるワークを体験するプログラムを導入した。
- ・外部講師が基礎研修を見学してくださり、それを踏まえた受講者への説明、また基礎研修検討委員に向けたアドバイスをいただいた。

【活動成果2 研修内容が重なる横断的な課題の検討】

- ・今年度は新たな試みとして研修内容が重なる横断的な課題を抽出し、研修全体を見渡して検討する時間を設けた。
- ・個別支援のプロセスについて、各種会議について、人材育成及び協議会について、分野の異なる受講者への対応についての4つを課題として抽出した。
- ・全ての研修で共通の資料を使うこと、OJTに関する受講者の所属事業所へのアプローチ等が課題の解決策として提案された。

【活動成果3 講師の養成】

- ・演習指導者養成研修の推薦者として新たに区市町村障害福祉所管課を追加した。
- ・ファシリテーターが安心して研修に臨めるよう、各研修の実施前にファシリテーターへの説明会を実施し、更新研修は、通常の説明会に加え、SVに関する説明会をオンデマンド配信で実施した。
- ・検討会委員が各研修の教室進行となり、経験の浅いファシリテーターのサポートも担っていただいた。

【活動成果4 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修への参加】

- ・今年度は国研修が令和7年9月9日から12日まで開催され、基礎研修、更新研修、実践研修に検討会委員3名、意思決定支援、障害児支援の2つの専門コース別研修に検討会委員2名が参加した。
- ・第3回検討会で受講の報告を行い、国研修で得た情報を共有した。

【活動成果5 その他】

基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修事業の受託者が、オブザーバーとして検討会に出席。各研修の実施状況等について報告するとともに、検討会での検討結果を踏まえて各研修を実施した。

次年度の取り組み

基礎研修	
実践研修	
更新研修	

